

<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1面 電気通信大学未払賃金等請求 事件訴訟控訴審 第一回口頭弁 論および報告会</p> <p>2面 寄稿</p> <p>3面 執行委員会の活動</p>	 <p style="text-align: center;">教職員組合 ニュース</p> <p style="text-align: center;">The University of Electro-communications Union News</p>	<p style="text-align: center;">電気通信大学 教職員組合編集部</p> <p>〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 内線 5027 Ⅹ 042-485-2953 e-mail : voice@uec-union.org http://www.uec-union.org</p>
---	--	---

未払賃金等請求事件訴訟控訴審第一回口頭弁論および報告会

11月28日午後1時30分から、東京高等裁判所にて電気通信大学教職員組合が支援する原告団(6名)の未払い賃金等請求事件控訴審の第一回口頭弁論が行われました。

大段裁判長により原告、被告側からそれぞれ提出されている控訴状、控訴理由書、答弁書の確認がされた後、原告側から水谷組合委員長が原告を代表して意見陳述を行い、その後、平弁護士が弁護団を代表して意見陳述を行いました。意見陳述では、原告が被った被害の大きさ、地裁では、給与削減、退職手当削減を決定した経緯、その必要性がまったく説明されず、証拠調べもされなかったことを訴え、当時の財務課長山本学氏の人証を求めました。

裁判長は、原告側の主張を認め、被告側に賃金等の削減の経緯、その必要性を説明するよう要請し、そのためにまずは被告が適切と考える者による陳述書を提出するよう指示しました。これまで、必要性を説明する必要はないとしていた被告側の弁護士は、裁判官の要請に驚いた様子を見せ、戸惑っていました。裁判官は、その提出された被告側の陳述書をもとに、人証を行うかどうかを次回決定すると述べ、閉廷しました。傍聴人は原告側11名(電通大の他、全大教、天文台、東工大、首都大、東京国公)、被告側3名でした。

口頭弁論後に、弁護士会館の会議室に場所を移して、報告集会を開催しました。水谷組合委員長からの挨拶の後、平弁護士から、地裁の判決は、他の未払い賃金請求の裁判の判決を利用した「結果ありき」のものだったが、控訴審では、即座に結審とならず、原告の財務状況等の説明の要求が認められ、まずは良かったと報告がありました。

また、次回口頭弁論の一週間前には提出される大学側の陳述書を見て、人証が認められるよう準備したいと述べられました。全大教書記長の長山氏は、正直なところ、即座に結審となる恐れもあると懸念していたが、電通大の地裁での口頭弁論では、財務状況に関して大学関係者の人証も行われなかったので、当然な結果であったと感想を述べられ、長山氏から今後も全大教は、電通大の訴訟を支援すると心強いお言葉を頂きました。また、他の状況として、11大学のうち4大学の最高裁への上告は棄却され、4大学は、高裁あるいは地裁での敗訴の後上訴を断念し、現在係争中の残る裁判は、電通大、新潟大、和歌山大の3つとなったと報告がありました。

次回第二回は、被告側の陳述が予定されており、期日は2018年2月13日(火)の午後1時30分になりました。電通大原告団は、引き続き弁護団とともに闘っていきますので今後ともよろしくご支援願います。

(電気通信大学教職員組合執行副委員長 野崎 眞次)



【寄稿】

西岳印象記

元教職員

2017年9月30日、秋晴れでほぼ無風、山道気温：約12~13℃

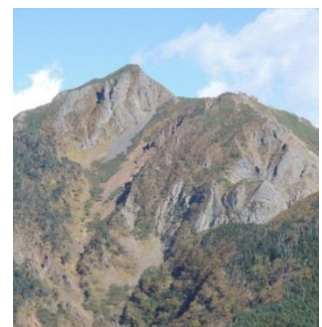
日頃、八ヶ岳で未だ歩き残した山々のあることが気になっていた。今回、ようやくその中の一つ、西岳(2398 ㍎)へ登る機会を持った。相手は八ヶ岳山域西端に位置する2000 ㍎を超す西岳(2398 ㍎)。2000~3000 ㍎級の山へ登るのは4年前の13年夏(8月25~26日)に甲斐駒ヶ岳(2960 ㍎)以来のこと。そもそも山歩き自体が3カ月ぶりだ。この間、著しく減退しているであろう体力に一抹の不安があった。ちなみに、西岳は南八ヶ岳山域の名峰権現岳から西方2.2 ㍎の地点にひっそり佇む、名前からしても如何にも地味な山である。

さて、前夜には澄みきった十日月を仰ぎ見、当日はまさに絶好の秋晴れの下、中央道上り線を経て小淵沢駅前へ。ここで角田氏と合流し富士見高原登山口に向かう。雑木林で囲まれた空っぽの駐車場は森閑としている。その奥の縁に2台並べて置く。繁茂するアザミの棘を避けながら、林道に出て明るいカラマツ林の中をゆったりとした上り坂を歩き始める。一瞬、角田さんの指差す方角に西岳の頂きがかすかに見える。黄葉目前の緑も趣がある。足元のノコンギクやハンゴンソウなどを見やりながらのんびり歩けば程なく不動清水に着く。ここで編笠山へのルートを右に分ける。岩穴から滾々と湧き出る清水で喉を潤せば、「よし! きょうはいけるぞ・・・」という「気」が満ちる。不動清水を後にし、再び樹林の中を進んでいくと先ず、処々にトリカブトの紫色が現れ、やがて高度が1000 ㍎台後半にもなると、花期を過ぎたゴゼンタチバナの群生が目に入ってくるのだが、登り道は相変わらず眺望のない樹林の中、容赦なく勾配を増すばかり。歩を進めるごとに余力を削がれ、草花はおろか周囲の景色を楽しむゆとりが失せてくる。加えて、道幅が狭まり、足元には木の根や岩塊が露出してくる。山頂間近になるころには、目に浸み込む汗を拭きながらの難行となる。それでも上から降りて来る、あるいはサッサと自分を追い越して行く山男・山女たちには声だけでもと大声で挨拶を送る。この状況下で、ともかくも山頂に立てたのが何とも不思議なのだが、それは「意地力」のお蔭としか言いようがない。山頂手前で突如開ける紺碧の青空、そして頂を踏んで展望を前にしたときの、半ば夢心地で味わった達成感と喜びをどう表現すればよいのか。間近に迫る権現岳の雄大さ! (写真)。呼吸を整え、恍惚・興奮に浸りながら、先ずは腹捲えをし、早速にスケッチブックを開く。あの狭い頂にはかつて投宿した権現小屋とトイレがある。吹き付ける強風の中、風前の灯のように佇んでいた建屋の姿が懐かしい。眺望は東から南へ向かって開けている。東方指呼の間に屹立する権現岳、その少し南(右)手前に編笠山がなだらかな山容を横たえ、さらに南方には小淵沢の平野を挟んだ彼方に南アルプスの山脈が幾重にも重なりあっている。富士山も編笠山の右肩の上に浮かんでいる。近景の権現岳、編笠山の山肌のディテールが生々しく、前者は荒々しい岩肌、後者は穏やかな樹林に包まれる。両者の狭間の樹林越しに青年小屋が見える。

ふと足元を見下ろすと岩陰からマツムシソウが一輪、ひっそりと顔を出していた(写真)。幾人かの先客も、それぞれにこの絶景を前に寛いでいる。スケッチを終える頃、スローペースの角田さんがやはり呼吸を弾ませながら現れる。長く満ち足りた休憩。予定時刻より1時間遅れの下山開始となる。

以下、参考までに当日のコースタイムを付す：

- ・当日のコース時程概略：小淵沢駅(集合) 9:15=>登山口(富士見高原)
[約1350m] 9:36...不動清水[約1510m] 10:10...小広場[2180m]...西岳
[2398m] 13:15/14:30 (lunch break) ...不動清水 16:35...登山口 17:10
(解散)



権現岳



マツムシソウ

【執行委員会の活動】 教職員執行委員会は、月4回程度の会議や不定期に随時に開催するセミナーなどを
通して活動しています。なお皆様からのご意見は随時受け付けております。
ぜひ組合(<voice@uec-union.org>内線 5027)にお寄せください。

10/26(木)	第13回執行委員会
11/ 2(木)	第14回執行委員会
11/ 9(木)	第15回執行委員会
11/16(木)	第16回執行委員会
11/28(火)	電気通信大学教職員組合未払い賃金等請求事件第1回高裁訴訟
11/30(木)	第17回執行委員会
12/ 7(木)	第18回執行委員会
2/13(火)	電気通信大学教職員組合未払賃金等請求事件訴訟控訴審第二回口頭弁論

【執行委員会より組合加入の訴え】

電気通信大学教職員組合は、電気通信大学に勤務する教職員の労働組合です。給与や福利厚生を含む労働環境の改善に取り組んでいます。

黙っていると労働環境はますます悪化します。他大学や企業に比べて電通大の労働環境は悪く、将来に不安を多く持っている教職員も多くなっています。組合は皆さんの声をもとに交渉して行きます。

組合活動は皆様の参加によって成り立っています。組合に是非加入してください。

悩み事があれば、加入は決めていなくても、まずご相談ください。ご希望なら弁護士を紹介できます。

Webサイト <http://uec-union.org/> の「ご意見・労働相談・加入」「連絡先」をご利用ください。



【組合活動支援(カンパ)のお願い】

皆さん、日頃から組合活動に対してご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

ご存知のように、本学は、他の多くの大学とは異なり、平成27年度4月までさかのぼって人勧に従い、給与が上がりました。これも、組合の地道な活動の成果です。

皆さんの労働環境を改善するため、組合はこれからも努力いたします。是非、組合の活動が継続できるようカンパをお願いします。組合に加入されない方でも、カンパをしていただける方は、いつでもお時間のあるときに東9号館103の組合事務室にいらっしゃって、ドア横にありますメールボックス付近に用意いたしました封筒に、おいくらでもいいですから入れていただき、メールボックスに入れていただくと大変ありがたいです。

*****切り取り線*****

組合加入申込書

20 年 月 日

電気通信大学教職員組合 執行委員長 殿

[名前: _____]
 [生年月日: 西暦 _____ 年 月] _____
 [所属部署: _____]
 [職種: 教員・事務系職員・技術系職員(どれかを○で囲む)]